

図書の選書、受入、目録

令和2年度国立大学図書館協会東京地区協会・
関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナー

日時：2020年11月12日（木）13：30～14：00

場所：オンライン開催

電気通信大学学術国際部学術情報課情報受入係長
上野 友稔

1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

Post Covid-19、ニューノーマルに対応した 大学図書館職員とは…？



Covid-19状況下で、大学図書館のこれまで想定されていなかった脆弱性が明らかになった。

- ・ アクティブラーニングスペース

- ・ **冊子資料の利用**

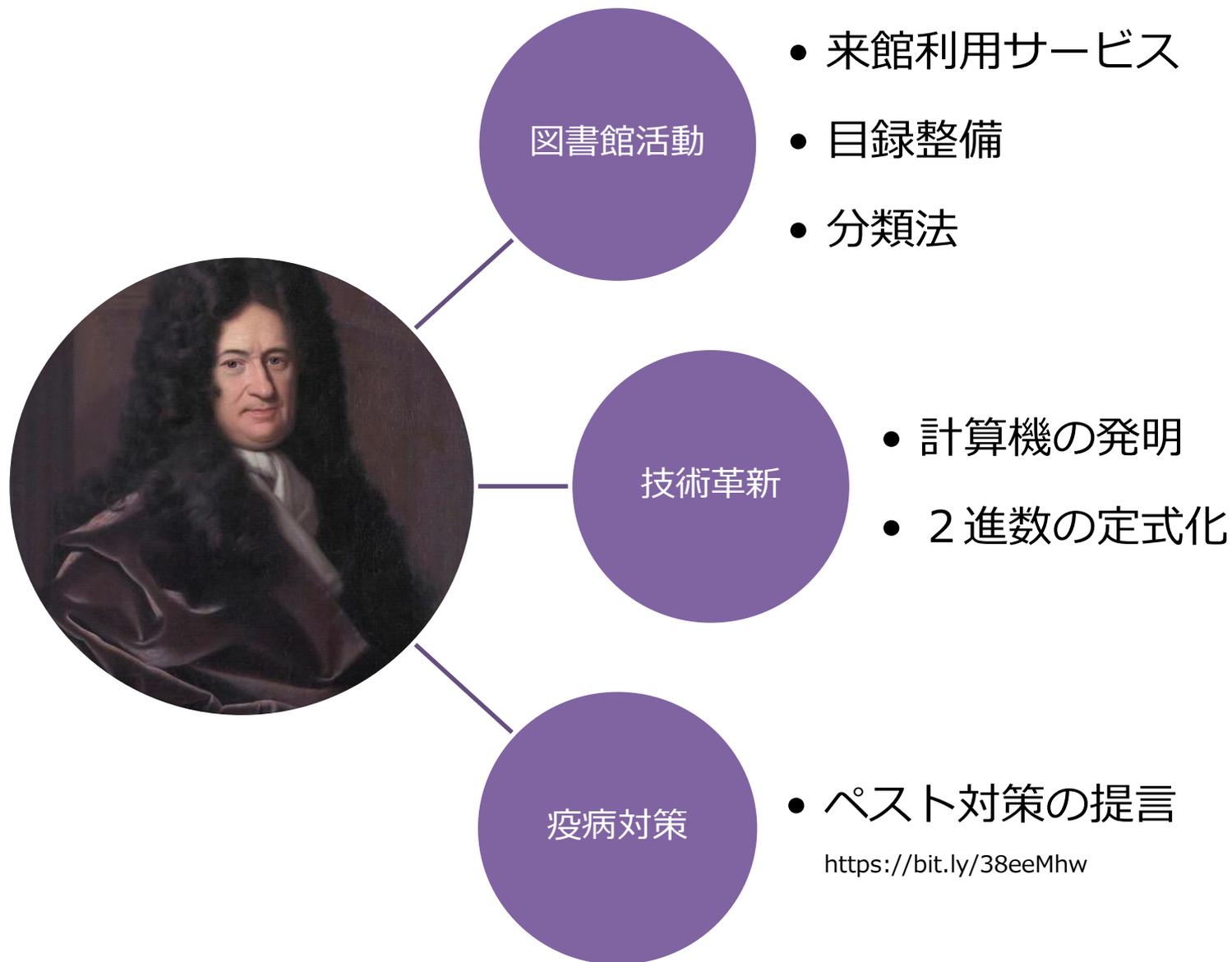
(後期に入り一部対面授業は再開されたが…)

依然として残る感染リスク、遠隔講義等への対応、第二・三波への対応、次なる感染症への対策など、課題解決を試みながら、適切なサービスが何かを検討・実践していく必要がある。

DON'T PANIC



1. Take Home Message



1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

2.自己紹介

年月	経歴
2004年3月	山口大学人文科学研究科地域文化専攻思想文化論コース（西洋哲学） 修了
2005年9月	阿知須町立図書館きらら館（10月より市町村合併により山口市立阿知須図書館きらら館へと名称変更） 臨時職員
2008年4月	公立大学法人島根県立大学図書情報課 任期付司書 ・総務、図書館システム管理・運用、IR構築、特殊文庫
2011年2月	国立大学法人電気通信大学附属図書館情報受入係（経験職採用） ・図書、IR構築
2012年8月	国立大学法人電気通信大学学術情報課学術情報サービス係 ・図書館システム管理・運用、UEC Ambient Intelligence Agora設計・構築、（これから）委員会電子リソースデータ共有作業部会
2018年4月	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課学術コンテンツ整備チーム係長（CAT/ILL担当、次期CAT/REO担当） ・これから委員会事務局、CAT/REO等システム管理・運用
2020年4月	国立大学法人電気通信大学学塾国際部学術情報課情報受入係長 ・図書、電子ジャーナル、APC調査、IR管理・運用

詳細については「Librarian Map」個人ページを参照してください。
<https://ex.librarianmap.org/wiki/%E5%88%A9%E7%94%A8%E8%80%85:Tomokiueno>

大学概要

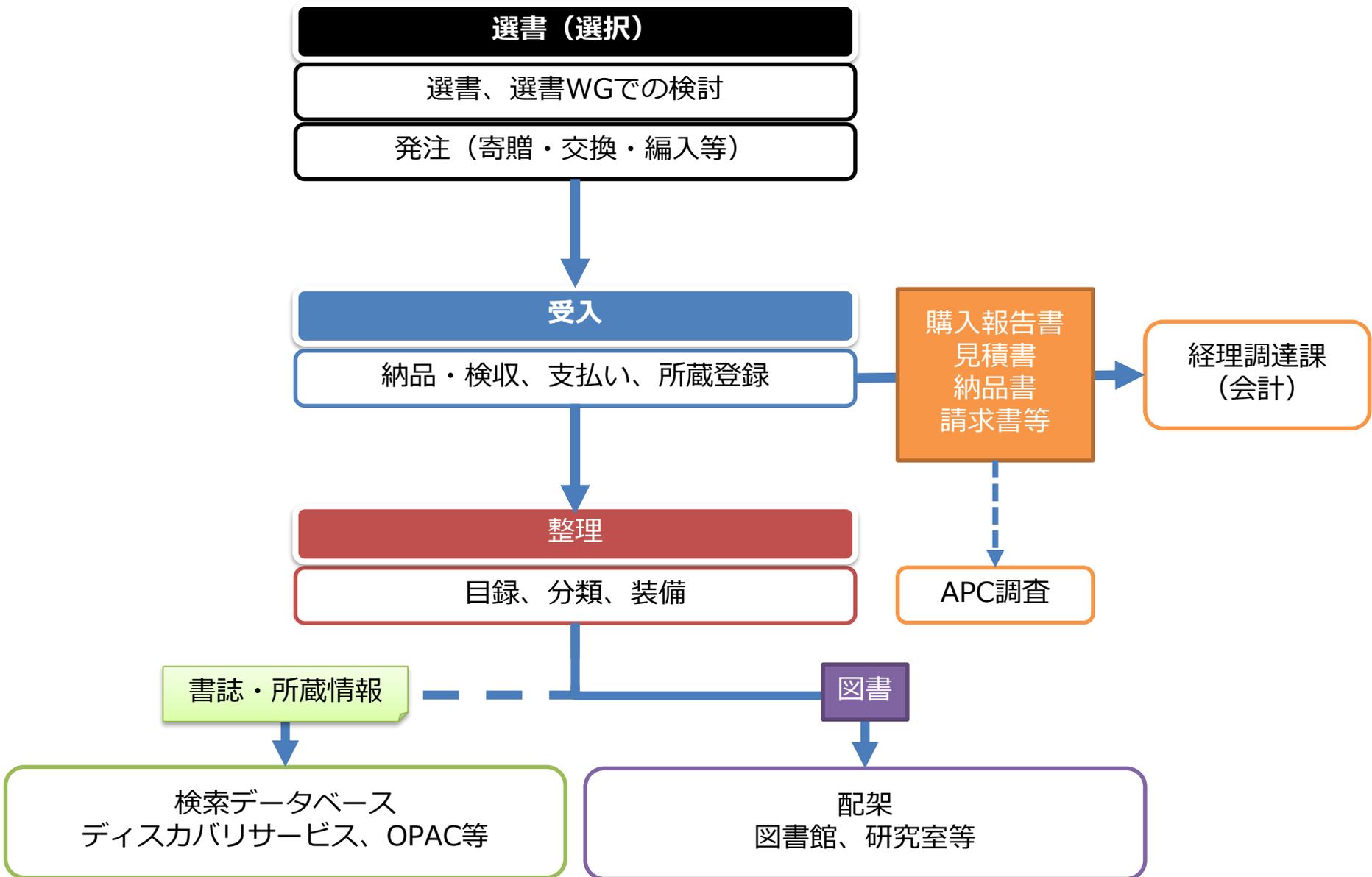
- 1918 (T7) 年：無線電信講習所
- 1949 (S24) 年：電気通信大学
 - 理工系単科大学
 - 教員：324名、事務職員：123名
 - 学部学生：3,387名、博士課程前期：1,035名、博士課程後期：183名

図書館概要

- 2019年度利用統計：入館者数242千人、貸出冊数30千冊（自然科学：工学：その他=1：1：1）
- 蔵書統計：図書：約300,000冊、雑誌：約5,000タイトル、電子ジャーナル：約3,000タイトル、電子ブック：約14,000タイトル
- 有形固定資産中図書の占める割合：3.3%
- AIを活用した学修スペース：UEC Ambient Intelligence Agora

1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

3. 図書業務のフロー



3. 図書：選書（選定）

1. 図書館員による選書
2. 学生希望
3. 教員推薦
4. 電子ブック（2020年度新規）
 - Covid-19対応一つとして実施
5. 選書ツアー
6. 書店による見計らい図書

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

収集方針と選書基準

- ・ シラバスの講義内容を踏まえた選書
- ・ 利用統計・経験則に基づいた選書
- ・ 自然科学：定評のある教科書、複本購入
- ・ 工学：新刊図書
- ・ 電気通信大学附属図書収集基準（2012年制定、館長裁定内規）に基づき審議

選書者

- ・ 図書館職員、教員（選書WGによる審議）、学生

選書ツール

- ・ 丸善・生協等の新刊情報、Amazon・生協等の販売ランキング

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

電子ブックサービス（試読型選書、DDA）の導入

- これまで学域学生向けの日本語電子ブックサービスを提供していなかった。
- 学生の登学禁止・遠隔授業の実施を受けて、サービスの比較検討を経て、5月11日よりサービス開始（選書WG等では事後承認）
 - 初期タイトル：シラバス掲載図書23タイトル（11月現在で93タイトルを提供）
 - アクセス環境：学内ネットワーク、全学認証（学認）
 - 世界の資料検索（ディスカバリーサービス）での検索
 - 教員・学生からのリクエスト受付

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

3. 図書：選書（選定）

電子ブックサービスの課題

- シラバス掲載図書や昨年度までの学生利用が多いタイトルは、大半が含まれていない。
 - シラバス掲載図書120冊中、導入サービスに含まれるのは23冊
 - 2019年度の貸出統計上位50タイトル中、導入サービスに含まれるのは5タイトル
- 冊子コレクションを完全に代替するサービスにはならない（古くから解決されない課題）。
 - 館長：自分の専門で利用するそのものズバリの資料は含まれていないが、ある程度代替となる資料が含まれています。
- 購読タイトル・試読サービスによるアクセス数：6,800回（5月～8月末まで）

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

- 図書館長、各専攻・センターを代表する教員6名により構成
- 年2回実施している教員推薦図書、継続図書、年間購読雑誌に関する購入可否を決定（オンライン資料は別WG）
 - 電子ブックの購入はメール審議
 - 電気学会研究会誌の電子化に伴う契約の継続を検討

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

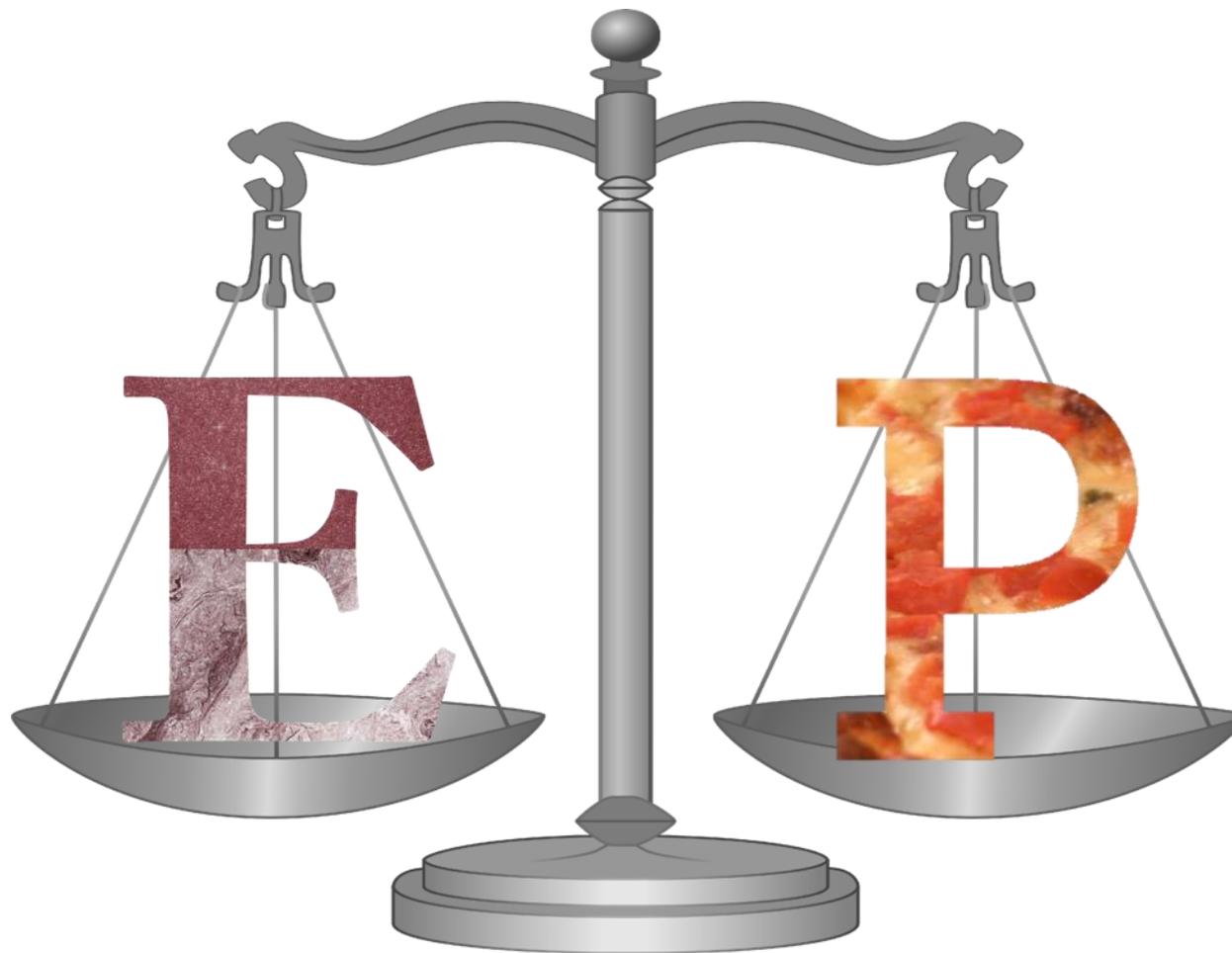
- リスト発注
 - データアントレプレナー用図書：担当教員による選書、冊数が多く金額が高いため見積合せ
- 継続発注
 - 岩波文庫・新書・科学L、講談社BB、理科年表、芥川賞・直木賞受賞作
- 見計らい発注

選書（選定）

選書WG
での検討

発注

電子と冊子でバランスの取れた選書



1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

通常時

- 納品：書店等が図書館・研究室に図書等を納めること
- 検収：図書館によるチェックを含めて「受け取り」が確認されること（納品書等に検収印、検収補助者の押印が必要）

Covid-19下（遠隔講義・入構制限の実施）

- 納品：Amazon等への発注、先生の自宅等での受取を許可
- 検収：購入報告書、請求書類、図書現物の写真等をメール添付にて提出してもらい、暫定的に検収をしたこととし、押印済書類の原本は後日提出

納品・検収

支払い

登録

財務会計システムへでの手続き

- 図書館システムとの連携
- 図書館で発注する資料は、受入係で財務会計システムにより購入報告書を作成し、請求書類とともに情報企画係を經由して、経理調達課へ提出される。

課題

- 財務会計システムの要件定義が不十分
 - 購入依頼・購入報告が選択できない、備品・消耗品の区分が入力できない等（結果として、以前より押印箇所が増えるという悪循環）
- 事務システムの電子化が進行しているが、決裁・押印システムとの連携は不可欠（作業が最も多いため）

納品・検収

支払い

登録

備品・消耗品を区別し、備品を所蔵登録登録

- 国立大学法人電気通信大学図書管理細則
 - 第4条 図書は、次に掲げる備品及び消耗品に区分する。
 - (1) 備品 使用予定期間が1年以上と図書管理責任者が認めた図書
 - (2) 消耗品 前号以外の図書

課題

- 図書館システムと図書原簿（データベースアプリ「桐」ファイル）での2重管理が続いている

納品・検収

支払い

登録

1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

2020年以降の目録所在情報システム：CAT2020

- ・ 2020年8月3日（月）に運用を開始、NACSIS-CATの一部機能改修と運用の変更（システム更新ではない）

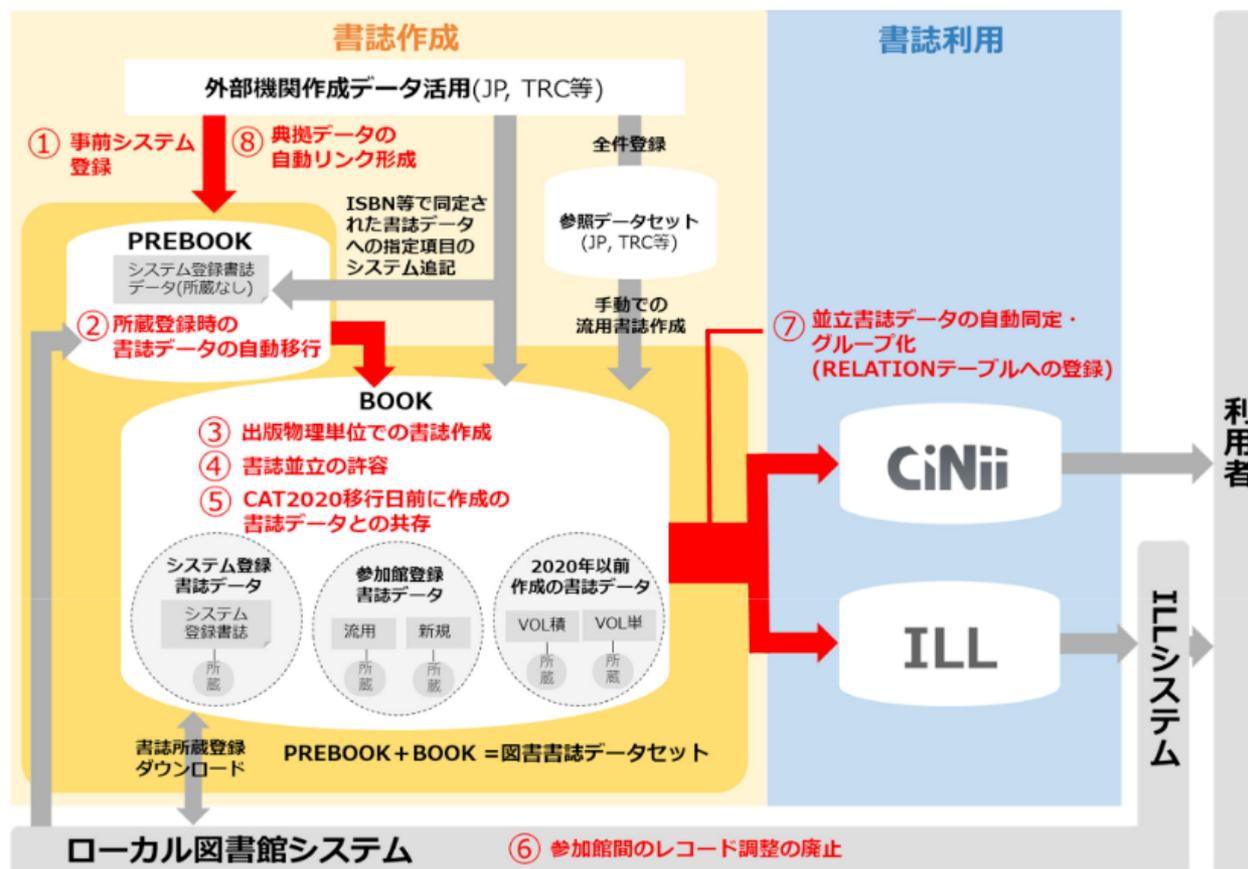


図2 NACSIS-CAT/ILL 変更の8つのポイント

3. 図書：目録・CAT2020

NCID:BC01956870
TR:精神分析の四基本概念 / ジャック・ラカン
[著] ; ジャック=アラン・ミレール編 ; 小出浩
之 [ほか] 訳||セイシンブンセキノヨンキホン
ンガイネン
VOL:上
ISBN(13):9784003860168
PTBL:岩波文庫||イワナミブンコ
<BN00015783> 青N(38)-603-1//a
AL:Lacan, Jacques, 1901-1981
<DA00441877>

NCID:BN00015783
TR:岩波文庫||イワナミブンコ

NCID:DA00441877
HDNG:Lacan, Jacques, 1901-1981
別名:ラカン, ジャック||ラカン, ジャック
PLACE:Paris
DATE:1901-1981

TR:精神分析の四基本概念 / ジャック・ラカン
[著] ; ジャック=アラン・ミレール編 ; 小出浩
之 [ほか] 訳||セイシンブンセキノヨンキホン
ンガイネン
VOL:下
ISBN(13):9784003860175
PTBL:岩波文庫||イワナミブンコ
<BN00015783> 青N(38)-603-2//a
AL:Lacan, Jacques, 1901-1981
<DA00441877>

要素巻次:下
資料ID:2020200038
請求記号:080/I
所在:準備中(図書)
貸出区分:一般
受入区分:購入
備消区分:消耗品
予算単位:3H07/図書購入費

目録作業

分類作業

装備

3. 図書：目録の新しいモデル

概念モデル

目録を作る上での考え方を整理したもの

FRBR
IFLA LRM

BIBFRAME

データモデル

概念モデルを具体化したデータモデル（目録の作成方法）

RDA

日本向けデータモデル

日本向けに翻案したデータモデル

日本目録規則
2018

目録作業

分類作業

装備

日本十進分類法新訂9版による分類

- 007を利用しない（過去からの申し送り）
 - ・ 情報理論：548.1、人工知能：548.13、情報科学：548.9
- 新技術等に対応した分類
 - ・ インターネット：547.48、ニューラルネットワーク：548.11、人工知能：548.13、3D技術：548.96

課題

- 日本十進分類法新訂10版の適応のタイミング
- Covid-19の影響が収まったタイミングでの実施を検討している（MRDF10が利用可能？）

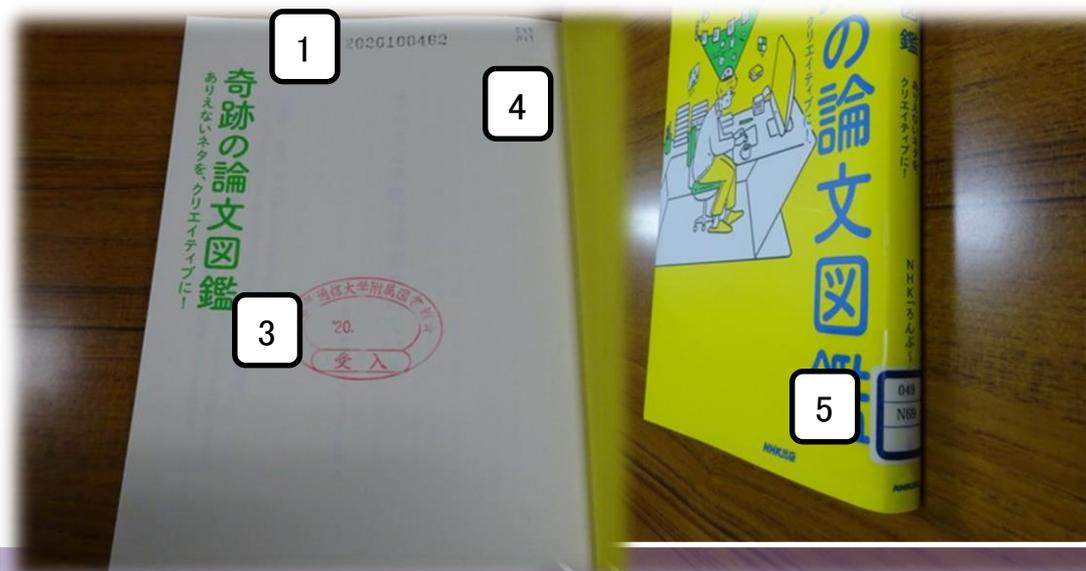
目録作業

分類作業

装備

3. 図書：装備

1. バーコード
2. 天地印
3. 受入印
4. ノドモト (請求記号)
5. 背ラベル
6. タトル

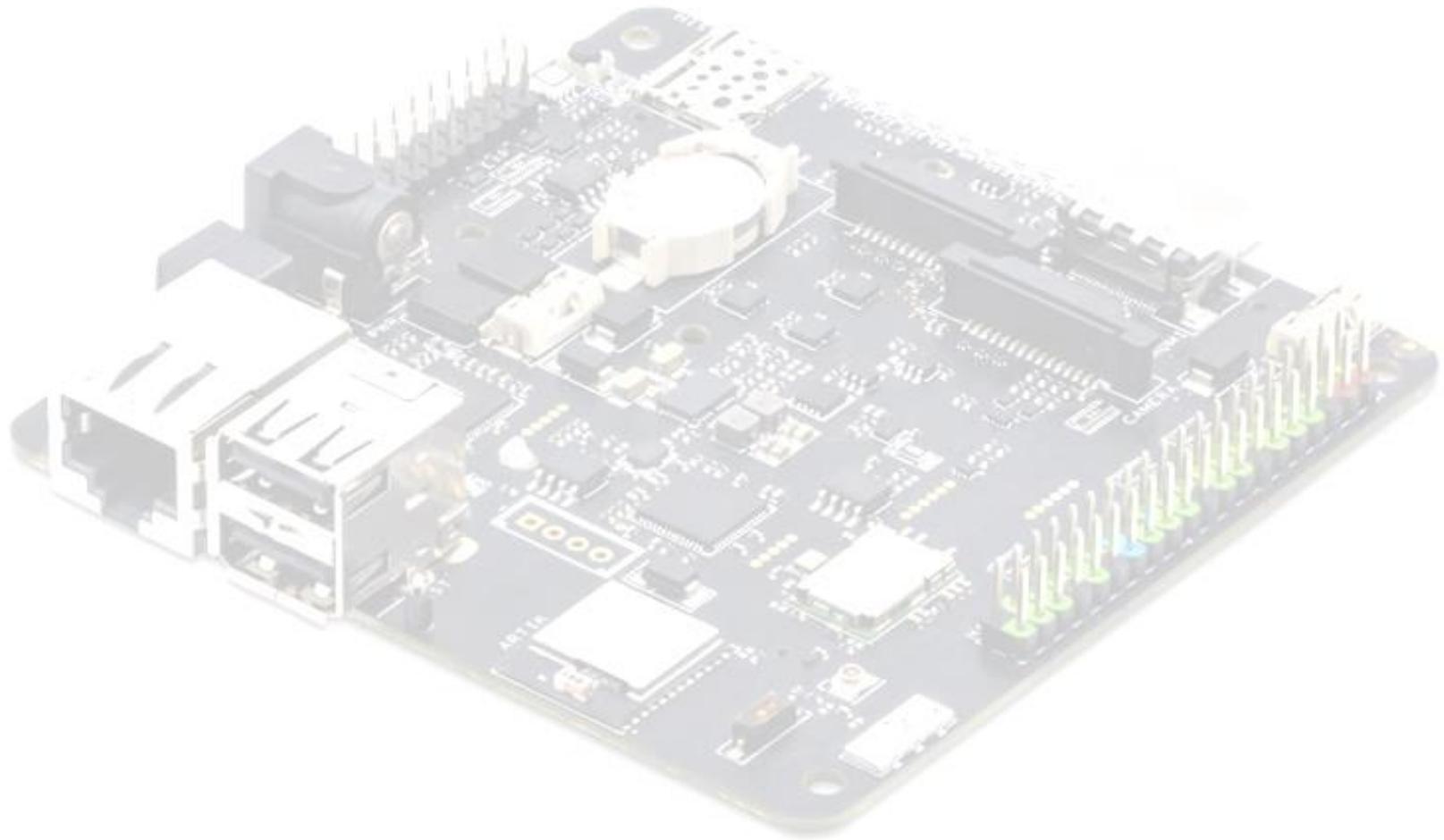


目録作業

分類作業

装備

目録は資料検索のための基盤ツール



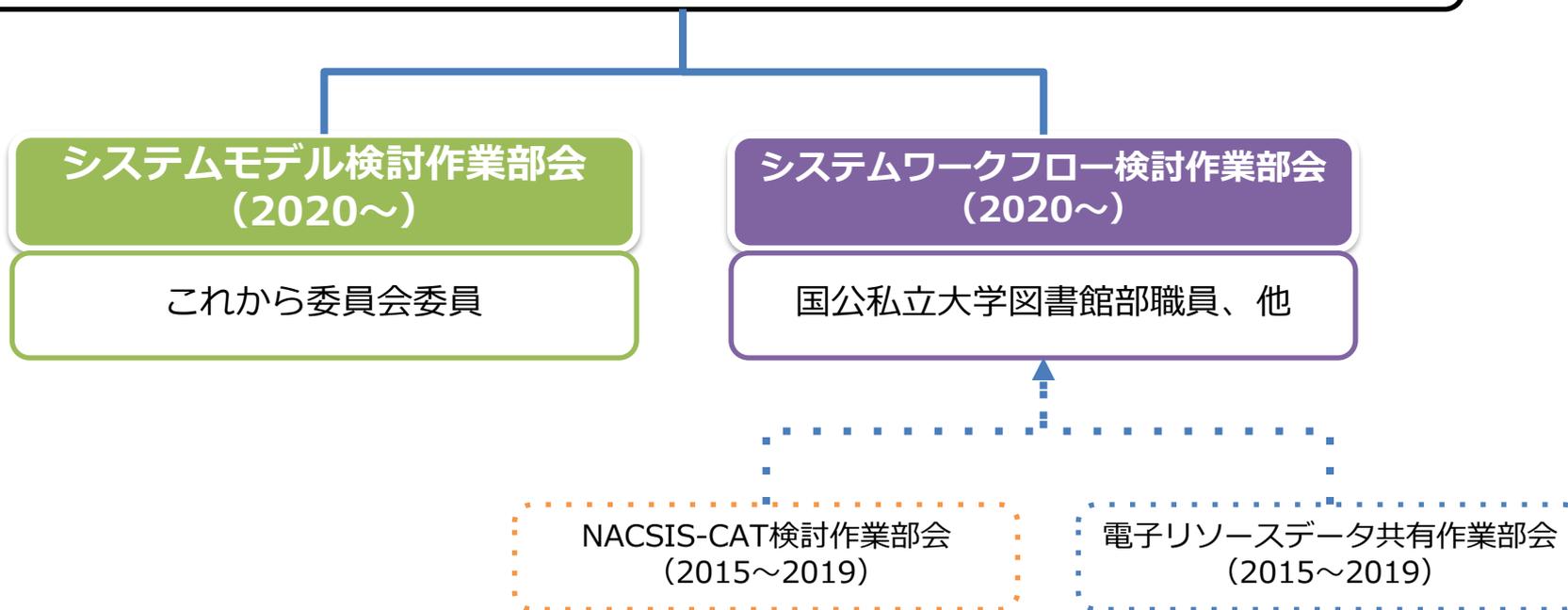
1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. **これから委員会の活動**
7. おわりに

6. これから委員会

「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化」に関する事項を企画・立案し、学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を推進することを目的に活動

これからの学術情報システム構築検討委員会 (2012～)

国公立大学図書館部課長、NII、その他連携・推進会議の委員長が必要と認めた者（有識者）



2019年2月15日

これからの学術情報システム構築検討委員会

これからの学術情報システムの在り方について（2019）

「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下に設置された本委員会は、2015年5月に「これからの学術情報システムの在り方について」（以下「在り方」）をまとめ、電子情報資源のデータ管理・共有のワークフローの検討及びNACSIS-(①) ILLの再構築（軽量化・合理化）に取り組んで②た。以下では、これまで③検討を整理し、現在の目録所在情報サービス機能を維持しつつ、電子情報資源への対応等、より豊かな機能を各機関が選択的に導入できるシステムの実現に向け、2022年を目処とした進むべき方向性、次に取り組むべき課題、及び検討体制を提示する。

なお、本文書内で使用する用語については、文書末尾の「用語集」を参照のこと。

1. 取り巻く環境の変化

学術審議会答申「今後における学術情報システムの在り方について」（1980年）を受け、1985年に総合目録データベースの形成と図書館間相互利用を目的とする「目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）」の運用が開始されて以来、今日までに学術情報

中央システム
(NII)

現在のCATへの接続
方法（CATP）の維持

JUSTICE提案書のタ
イトルリスト・ライ
センス情報の提供

ローカルシステム
(各大学)

CATへの接続、電子
情報資源データの利
活用、図書館シス
テムの共同調達・共同
運用の選択的導入

作業部会に求められる人材像

- これまでできなかったサービス、まだないサービスを設計し実現する（システムの内部に詳しいとなおベター）



1. Take Home Message
2. 自己紹介
3. 図書業務①選書（選択）
4. 図書業務②受入
5. 図書業務③目録
6. これから委員会の活動
7. おわりに

現在の業務を理解し、改善・新しい取り組み
にチャレンジできるチャンス

バランス感覚

コミュニカ

基盤となる知識



6. おわりに：参考資料

- Leibniz, Gottfried Wilhelm, Freiherr von、佐々木能章、稲岡大志、大西光弘、池田真治、長綱啓典、松田毅、酒井潔、中山純一、津崎良典、高田博行、林知宏、山根雄一郎、上野ふき、藤井良彦『技術・医学・社会システム：豊饒な社会の実現に向けて（ライブニッツ著作集 / ゴットフリート・ヴィルヘルム・ライブニッツ著 第2期；3）』（工作舎、2018）
- 『国立大学法人電気通信大学百周年記念誌』（<https://bit.ly/36hDTNS>）
- 『電気通信大学概要2020-2021』（<https://bit.ly/3pcZ6B8>）
- 田窪直規、岡田靖、小林康隆、村上泰子、山崎久道、渡邊隆弘『資料組織概説 3訂（新・図書館学シリーズ 9）』（樹村房、2007）
- 藤原是明編著『図書館情報資源概論』（ミネルバ書房、2018）
- 上野友稔「疑いをさしはさみうるものについて：大学図書館における選書」『大学図書館研究』（大学図書館研究編集委員会、2010、<https://bit.ly/2GL4r1b>）
- 保坂睦「大学図書館で電子ブックを利用する：過渡期における現況報告（特集 電子ブック：試読型選書システム（DDA）を導入して）」『Medianet』（慶應義塾大学メディアセンター、2018、<https://bit.ly/3kob5s5>）
- 沢田純子「図書発注・受入システムについて（特集 新システムへの移行:3つのコンセプトを掲げて）」『Medianet』（慶應義塾大学メディアネット本部、1999、<https://bit.ly/36obyW7>）
- 『NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（最終まとめ）』（<https://bit.ly/3pgApUf>）
- 『日本目録規則 2018年版』（<https://bit.ly/38pw23m>）
- 上田修一、蟹瀬智弘『RDA入門：目録規則の新たな展開（JLA図書館実践シリーズ 23）』（日本図書館協会、2014）
- 『これからの学術情報システムの在り方について（2019）』（<https://bit.ly/3ltxGEZ>）
- 内藤耕『「最強のサービス」の教科書（講談社現代新書 2066）』（講談社、2010）

No Attack, No Chance

-Takuma Sato

Day One

-Jef Bezos



上野友稔

ueno.tomoki@office.uec.ac.jp